

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2022年12月27日まで（2012年4月10日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）成長型	外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d が発行する円建の外国投資証券（Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無））、マネー・プール マザーファンド受益証券
	Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）	世界各国の先物取引等に係る権利および金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
	マネー・プール マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	・主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも投資を行います。 ・ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッドが提供する「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」を活用します。	
主な組入制限	・投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。	
分配方針	毎年12月27日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。） 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）成長型

第9期（決算日：2020年12月28日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）成長型」は、去る12月28日に第9期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 騰 金 落	中 率				
	円	円	円	%	%	%	%	百万円
5期(2016年12月27日)	15,213	0	△	9.4	—	—	97.1	2,348
6期(2017年12月27日)	15,159	0	△	0.4	—	—	97.1	1,565
7期(2018年12月27日)	15,327	0		1.1	—	—	95.1	1,162
8期(2019年12月27日)	14,796	0	△	3.5	—	—	95.0	959
9期(2020年12月28日)	12,099	0	△	18.2	—	—	95.1	614

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率ー売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
		騰 落 率			
(期 首)	円	%	%	%	%
2019年12月27日	14,796	—	—	—	95.0
12月末	14,794	△ 0.0	—	—	95.0
2020年1月末	15,083	1.9	—	—	94.9
2月末	15,693	6.1	—	—	95.2
3月末	13,836	△ 6.5	—	—	92.7
4月末	13,973	△ 5.6	—	—	95.1
5月末	13,589	△ 8.2	—	—	94.9
6月末	13,124	△11.3	—	—	95.1
7月末	12,569	△15.1	—	—	94.9
8月末	12,336	△16.6	—	—	95.0
9月末	12,182	△17.7	—	—	95.0
10月末	12,187	△17.6	—	—	95.0
11月末	12,037	△18.6	—	—	95.0
(期 末)					
2020年12月28日	12,099	△18.2	—	—	95.1

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第9期：2019年12月28日～2020年12月28日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第9期首	14,796円
第9期末	12,099円
既払分配金	0円
騰落率	－18.2%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ18.2%の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

下落要因

株式市場や為替市場の変動、実質的に投資している米ドルなどの外貨建資産通貨が対円で下落したことなどがマイナスに影響しました。

第9期：2019年12月28日～2020年12月28日

投資環境について

▶ 株式市況

日本を含む先進国や新興国の株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、世界的に実体経済停滞に対する懸念が高まったことなどを背景に2020年2月から3月にかけて下落しました。その後は、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展と接種の開始や、欧米の積極的な金融緩和政策、追加的な経済支援策への期待、米大統領選の結果を巡る不透明感の後退などを背景に上昇しました。

▶ 債券市況

米国や欧州の債券利回りは中央銀行による積極的な金融緩和などから低下しました。日本の債券利回りはほぼ横ばいでした。新興国の債券利回りは2020年3月にスプレッドの拡大などから上昇しましたが、その後は低下し、期を通じてみると低下しました。

▶ 商品市況

原油価格は、2020年3月から4月にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大による需要減少で原油在庫が増加したことなどを背景に下落しました。その後は上昇しましたが、期を通じてみると下落しました。金価格は、米ドルが他の主要国通貨に対して下落したことや安全資産とし

ての需要が高まったことなどを背景に上昇しました。

▶ 為替市況

円は米ドルに対して上昇した一方、ユーロ、豪ドルなどに対しては下落しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.019%となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）成長型

当ファンドは、外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dが発行する円建の外国投資証券「Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）」への投資を通じて、主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも実質的に投資を行いました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

期末においては、Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）を95.1%、マネー・プール マザーファンドを少額組み入れています。

▶ Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）

（当記載は、外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dの資料を基に、三菱U F J 国際投信が作成したものです。）

Q T X W C M G D P F u n dでは実質的にウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド（以下「ウィントン社」）の「マネージド・フューチャー

ズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行いました。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定し、主として、世界各国の株式や先物取引に実質的に投資を行いました。

▶ マネー・プール マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を目指した運用を行いました。

＞ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

＞ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第 9 期 2019年12月28日～2020年12月28日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	6,180

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ 国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）成長型

引き続き、当ファンドが主要投資対象とする外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dが発行する円建の外国投資証券「Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）」への投資を通じて、主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも実質的に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行います。

▶ Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）

（当記載は、外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dの資料を基に、三菱U F J 国際投信が作成したものです。）

Q T X W C M G D P F u n dでは実質的にウィントン社の「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行います。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定します。

マネージド・フューチャーズ戦略

主として世界中の先物及び先渡取引を投資対象とし、ウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより取引対象の値動きの方向性を捉え追隨すること（トレンド・フォロー戦略）によって収益の獲得を目指します。当戦略は、世界中の100以上の様々な市場に投資をすることで分散ポートフォリオを構築、ロング・ポジション（買い持ち）及びショート・ポジション（売り持ち）の両方を駆使することで特定の市場における資産価格の上昇のみに依存しないように設計されています。

株式運用戦略

世界中の株式を投資対象とし、現物株式や株式指数のロング・ポジション（買い持ち）又はショート・ポジション（売り持ち）を活用する、株式市場の上昇だけに依存しない収益の獲得を目指す戦略です。取引対象の売買判断及び配分比率の決定はウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより行われます。

▶ マネー・プール マザーファンド

消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保を目指した運用を行う方針です。

2019年12月28日～2020年12月28日

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信 託 報 酬	167	1.265	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(74)	(0.560)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(89)	(0.672)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.034)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)そ の 他 費 用	1	0.011	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.011)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	168	1.276	

期中の平均基準価額は、13,240円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

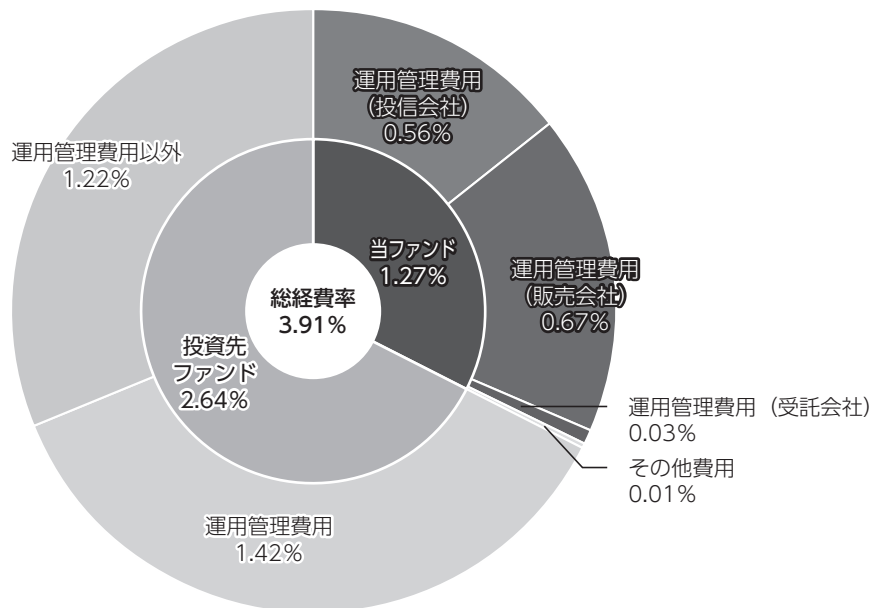
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は3.91%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	3.91
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.27
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	1.42
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	1.22

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年12月28日～2020年12月28日)

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ無)	千口 6 (△0.0025)	千円 10,600 (ー)	千口 126	千円 194,200

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は分割・合併および償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年12月28日～2020年12月28日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年12月28日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ無)		548	428	584,323	95.1
合 計		548	428	584,323	95.1

(注) 比率は国際オルタナティブ戦略 Q T Xーウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）成長型の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
マネー・プール マザーファンド		99	99	99

○投資信託財産の構成

(2020年12月28日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 584,323	% 94.4
マネー・プール マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	34,346	5.6
投資信託財産総額	618,768	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年12月28日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	618,768,253
コール・ローン等	34,144,304
投資証券(評価額)	584,323,979
マネー・プール マザーファンド(評価額)	99,970
未収入金	200,000
(B) 負債	4,058,320
未払信託報酬	4,022,771
未払利息	15
その他未払費用	35,534
(C) 純資産総額(A-B)	614,709,933
元本	508,082,542
次期繰越損益金	106,627,391
(D) 受益権総口数	508,082,542口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,099円

<注記事項>

- ①期首元本額 648,276,542円
 期中追加設定元本額 256,942円
 期中一部解約元本額 140,450,942円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2099円です。

②分配金の計算過程

項 目	2019年12月28日～ 2020年12月28日
費用控除後の配当等収益額	—円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円
収益調整金額	237,015,991円
分配準備積立金額	77,017,940円
当ファンドの分配対象収益額	314,033,931円
1万口当たり収益分配対象額	6,180円
1万口当たり分配金額	—円
収益分配金金額	—円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

○損益の状況（2019年12月28日～2020年12月28日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 12,022
受取利息	233
支払利息	△ 12,255
(B) 有価証券売買損益	△127,604,043
売買益	15,985,427
売買損	△143,589,470
(C) 信託報酬等	△ 9,364,800
(D) 当期損益金(A+B+C)	△136,980,865
(E) 前期繰越損益金	△ 12,095,838
(F) 追加信託差損益金	255,704,094
(配当等相当額)	(237,015,991)
(売買損益相当額)	(18,688,103)
(G) 計(D+E+F)	106,627,391
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	106,627,391
追加信託差損益金	255,704,094
(配当等相当額)	(237,015,991)
(売買損益相当額)	(18,688,103)
分配準備積立金	77,017,940
繰越損益金	△226,094,643

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）成長型が投資対象とする外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dが発行する円建の外国投資証券です。

名 称	Q T X W C M G D P F u n d
投資証券（シェア・クラス）の名称	Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）
形態	ケイマン籍外国投資法人
投資の基本方針	主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも投資を行います。
運用方針	ウィントン社の「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行います。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定します。 【マネージド・フューチャーズ戦略】 主として世界中の先物及び先渡取引を投資対象とし、ウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより取引対象の値動きの方向性を捉え追従すること（トレンド・フォロー戦略）によって収益の獲得を目指します。当戦略は、世界中の100以上の様々な市場に投資をすることで分散ポートフォリオを構築、ロング・ポジション（買い持ち）及びショート・ポジション（売り持ち）の両方を駆使することで特定の市場における資産価格の上昇のみに依存しないように設計されています。 【株式運用戦略】 世界中の株式を投資対象とし、現物株式や株式指数のロング・ポジション（買い持ち）又はショート・ポジション（売り持ち）を活用する、株式市場の上昇だけに依存しない収益の獲得を目指す戦略です。取引対象の売買判断及び配分比率の決定はウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより行われます。
投資顧問会社	ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド
アレンジャー	ゴールドマン・サックス・インターナショナル
設定日	2012年4月12日
会計年度	毎年1月1日から12月31日まで

※Q T X W C M G D P F u n dは日本において届出は行われておらず、日本においてQ T X W C M G D P F u n dへの直接投資を行うことはできません。

※ウィントン社の運用は、Q T X W C M G D P T R A D I N Gを通じて行われます。

Q T X W C M G D P F u n d

包括利益計算書、純資産変動計算書、投資概況は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 包括利益計算書

Q T X W C M G D P F u n d

2019年12月31日に終了した年度

(米ドルで表示)

投資損益	
<i>純損益を通じて公正価値で測定する金融商品</i>	
Q T X W C M G D P T R A D I N Gに係る未実現損益の純変動	487,247
Q T X W C M G D P T R A D I N Gに係る実現損益 (純額)	476,028
デリバティブに係る未実現損益の純変動	(288,940)
デリバティブに係る実現損益 (純額)	91,350
<i>金融商品の償却原価</i>	
為替に係る未実現損益の純変動	395
為替に係る実現損益 (純額)	1,133
維持管理料の割り戻し	205,892
受取利息	24,985
投資純損益	998,090
運用費用	
運用受託報酬	239,196
市場への接続費用	119,563
ファンド管理報酬	65,785
支払利息	13
成功報酬	1
その他の費用	243,020
運用費用合計	667,578
運用による純資産の増減 (純額)	US\$ 330,512

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

包括利益計算書（続き）

Q T X W C M G D P T R A D I N G *

2019年12月31日に終了した年度

（米ドルで表示）

投資損益		
<i>純損益を通じて公正価値で測定する金融商品</i>		
デリバティブに係る未実現損益の純変動		301, 261
デリバティブに係る実現損益（純額）		390, 343
株式投資に係る未実現損益の純変動		—
株式投資に係る実現損益（純額）		—
受取配当金		58, 758
スワップ取引による受取利息		236
支払配当金		(122, 734)
スワップ取引による支払利息		(31, 105)
<i>金融商品の償却原価</i>		
為替に係る未実現損益の純変動		5, 895
為替に係る実現損益（純額）		(7)
受取利息		413, 355
その他の収益		143
投資純損益		1, 016, 145
運用費用		
支払委託手数料		44, 765
支払利息		3, 317
その他の費用		446
運用費用合計		48, 528
源泉徴収税		4, 342
運用による純資産の増減（純額）	US\$	963, 275

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

*本報告書において「Q T X W C M G D P T R A D I N G」を「Trading Fund」ということがあります。

2. 純資産変動計算書

Q T X W C M G D P F u n d

2019年12月31日に終了した年度

(米ドルで表示)

期首	25,621,594
運用による純資産の増減額	330,512
資本取引	
un-hedged redeemable preference shares 発行	285,231
un-hedged redeemable preference shares 償還	(3,722,459)
hedged redeemable preference shares 発行	78,626
hedged redeemable preference shares 償還	(2,048,948)
等化調整	7,880
	(5,399,670)
期末	US\$ 20,552,436
所有者の内訳	
ordinary shares の所有者に属する純資産	2
redeemable preference shares の所有者に属する純資産	US\$ 20,552,434

Q T X W C M G D P T R A D I N G

2019年12月31日に終了した年度

(米ドルで表示)

期首	23,407,768
運用による純資産の増減額	963,275
資本取引	
redeemable preference shares 償還	(5,348,000)
期末	US\$ 19,023,043
所有者の内訳	
ordinary shares の所有者に属する純資産	2
redeemable preference shares の所有者に属する純資産	US\$ 19,023,041

3. 投資概況

Q T X W C M G D P F u n d

金融商品

(米ドルで表示)

	純資産比率	公正価値 (2019年12月31日)
Investment in Trading Fund	92.56%	19,023,041
<i>Derivative assets</i>		
Forward currency exchange contracts	0.13%	26,407
Total financial assets at fair value	92.69%	US\$ 19,049,448

Q T X W C M G D P T R A D I N G

金融商品

(米ドルで表示)

	純資産比率	公正価値 (2019年12月31日)
<i>Derivative assets</i>		
CFDs	0.00%	—
Forward currency exchange contracts	0.26%	48,823
Futures contracts	2.59%	492,290
Total financial assets at fair value	2.85%	US\$ 541,113
<i>Derivative liabilities</i>		
Forward currency exchange contracts	0.07%	14,102
Futures contracts	3.06%	581,420
Total financial liabilities at fair value	3.13%	US\$ 595,522

投資概況（続き）

Q T X W C M G D P T R A D I N G

為替のエクスポージャー

(2019年12月31日現在)

	金融資産	金融負債	ネット・エクスポージャー
Australian dollar	53,725	(1,873)	51,852
Brazilian real	10,382	—	10,382
British pound	55,734	(13,468)	42,266
Canadian dollar	8,628	(7,100)	1,528
Czech koruna	318	—	318
Denmark krone	4,006	(548)	3,458
Euro	215,878	(51,731)	164,147
Hong Kong dollar	26,521	—	26,521
Hungarian forint	—	(97)	(97)
Indian rupee	2	—	2
Indonesian rupiah	—	(4)	(4)
Israeli shekel	—	(5)	(5)
Japanese yen	39,353	(1,813)	37,540
Malaysian ringgit	—	(4,298)	(4,298)
New Zealand dollar	—	(179)	(179)
Norwegian krone	86	(1,347)	(1,261)
Philippine peso	—	(4)	(4)
Polish zloty	—	(89)	(89)
Russian ruble	1	—	1
Singapore dollar	—	(1,907)	(1,907)
South African rand	700	—	700
South Korean won	14,458	—	14,458
Swedish krona	8,933	(1,793)	7,140
Swiss franc	499	(81)	418
Taiwan dollar	2	—	2
Turkish lira	426	—	426
US\$	439,652	(86,337)	353,315

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

デリバティブ金融資産

(2019年12月31日現在)

デリバティブ資産	満期	契約数	名目	公正価値
Forward currency exchange contracts	Jan 20-Mar 20	9	US\$ 3,541,490	48,823
Commodity futures contracts	Jan 20-Dec 20	164	9,165,300	358,091
Currency futures contracts	Mar 20	71	4,626,551	48,410
Index futures contracts	Jan 20-Mar 20	52	6,138,963	72,537
Interest rate futures contracts	Mar 20-Sep 20	67	11,494,270	13,252
CFDs	Current	496	7,471,588	—
US\$				541,113

デリバティブ負債	満期	契約数	名目	公正価値
Forward currency exchange contracts	Jan 20-Mar 20	8	US\$ 1,143,141	14,102
Commodity futures contracts	Jan 20-May 20	142	5,302,425	305,630
Currency futures contracts	Mar 20	68	8,931,845	103,140
Index futures contracts	Jan 20-Mar 20	55	3,900,586	29,234
Interest rate futures contracts	Mar 20-Dec 22	142	32,661,068	143,416
US\$				595,522

マネー・プール マザーファンド

《第22期》決算日2020年7月14日

〔計算期間：2020年1月15日～2020年7月14日〕

「マネー・プール マザーファンド」は、7月14日に第22期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第22期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の公社債
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率					
	円	%		%		%	百万円
18期(2018年7月17日)	10,044	△0.0	—	—	—	—	210
19期(2019年1月15日)	10,043	△0.0	—	—	—	—	159
20期(2019年7月16日)	10,042	△0.0	—	—	—	—	147
21期(2020年1月14日)	10,041	△0.0	—	—	—	—	130
22期(2020年7月14日)	10,041	0.0	—	—	—	—	117

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落 率				
(期 首)	円	%		%		%
2020年1月14日	10,041	—	—	—	—	—
1月末	10,041	0.0	—	—	—	—
2月末	10,041	0.0	—	—	—	—
3月末	10,041	0.0	—	—	—	—
4月末	10,041	0.0	—	—	—	—
5月末	10,041	0.0	—	—	—	—
6月末	10,041	0.0	—	—	—	—
(期 末)						
2020年7月14日	10,041	0.0	—	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

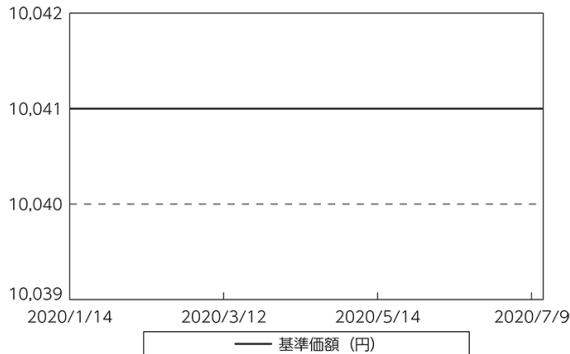
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額にプラスに寄与しました。

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用が、基準価額にマイナスに作用しました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2020年7月14日のコール・レートは-0.017%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

(2020年1月15日～2020年7月14日)

○売買及び取引の状況

(2020年1月15日～2020年7月14日)

		買 付 額	売 付 額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 12,299,993	千円 12,299,994

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2020年1月15日～2020年7月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年7月14日現在)

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 99,999	% 84.9

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2020年7月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 99,999	% 84.9
コール・ローン等、その他	17,777	15.1
投資信託財産総額	117,776	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年7月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	117,776,541
コール・ローン等	17,776,594
その他有価証券(評価額)	99,999,947
(B) 負債	3,581
未払解約金	3,572
未払利息	9
(C) 純資産総額(A－B)	117,772,960
元本	117,291,588
次期繰越損益金	481,372
(D) 受益権総口数	117,291,588口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,041円

<注記事項>

- ①期首元本額 130,172,909円
 期中追加設定元本額 5,915,947円
 期中一部解約元本額 18,797,268円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0041円です。

②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

マネー・プール・ファンドVI	65,831,543円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (毎月決算型)	15,855,020円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) マネー・プール・ファンドV (年2回決算型)	11,480,760円
世界投資適格債オープン (為替ヘッジあり) (毎月決算型)	5,154,901円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	4,314,823円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マネー・プール・ファンドX (年2回決算型)	3,242,983円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マネー・プール・ファンドIX (1年決算型)	1,800,890円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 資源国通貨バスケットコース (毎月決算型)	1,608,548円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
マネー・プール・ファンドIV	976,425円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	554,401円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	119,857円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	99,682円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	99,682円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インド・ルピーコース (毎月決算型)	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	99,592円

○損益の状況 (2020年1月15日～2020年7月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 2,852
受取利息	513
支払利息	△ 3,365
(B) 当期損益金(A)	△ 2,852
(C) 前期繰越損益金	537,027
(D) 追加信託差損益金	24,188
(E) 解約差損益金	△ 76,991
(F) 計(B＋C＋D＋E)	481,372
次期繰越損益金(F)	481,372

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ユーロコース（1年決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）円コース（1年決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）豪ドルコース（毎月決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ブラジル・レアルコース（毎月決算型）	99,592円
US短期ハイ・イールド債オープン（為替プレミアムコース（毎月決算型）	99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）分配型	99,561円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）中国元コース（毎月決算型）	19,977円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）トルコ・リラコース（毎月決算型）	19,961円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）メキシコ・ペソコース（毎月決算型）	19,925円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ロシア・ルーブルコース（毎月決算型）	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（1年決算型）	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ロシア・ルーブルコース（1年決算型）	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）中国元コース（1年決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）南アフリカ・ランドコース（毎月決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）トルコ・リラコース（1年決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）中国元コース（毎月決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）トルコ・リラコース（毎月決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）南アフリカ・ランドコース（1年決算型）	9,960円
アジアリート戦略オープン（為替ヘッジあり）毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン（為替ヘッジなし）毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン（為替ヘッジあり）年2回決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン（為替ヘッジなし）年2回決算型	9,952円
欧州アクティブ株式オープン（為替ヘッジなし）	4,979円
欧州アクティブ株式オープン（為替ヘッジあり）	4,979円
米国高利回り社債ファンド（毎月決算型）	999円
米国高利回り社債・円ファンド（毎月決算型）	999円
米国高利回り社債・ブラジル・レアルファンド（毎月決算型）	999円
合計	117,291,588円